



いっしょに話しませんか？  
くしろのこと



# 2018年度(平成30年度) 議会報告会開催概要

Outline of City council's briefing session on citizens' meeting

# 目 次

2018 年度(平成 30 年度)議会報告会開催概要.....	1
会場別開催概要.....	3
釧路市中央図書館.....	5
釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）.....	10
釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）.....	13
音別町コミュニティセンター.....	18
アンケート集計結果.....	23
（参考資料）スライド.....	29

# 2018 年度(平成 30 年度)議会報告会開催概要

釧路市議会は、市民に開かれた議会を目指して、平成 23 年に「釧路市議会基本条例」を制定しました。本条例では、市民に対し議会が持っている情報を積極的に発信して説明責任を十分に果たさなければならないこと、議員と市民が情報や意見を交換する場をより多く設けるよう努めることなどを定めており、その一環として開催するのが「議会報告会」であり、本取り組みは今年で 8 年目となります。

## 【開催日程】

今年度は、平成 30 年 2 月に移転オープンした中央図書館を初め市内 4 会場で開催しました。

開催日	開催時間	会場
10 月 23 日(火)	10:30～12:00	釧路市中央図書館
10 月 24 日(水)	18:30～20:00	釧路市鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)
10 月 25 日(木)	18:30～20:00	釧路市中部地区コミュニティセンター (コアかがやき)
10 月 26 日(金)	18:30～20:00	音別町コミュニティセンター

## 【プログラム】

議長（副議長）による開会挨拶、議会改革の取り組みの紹介に引き続き、9 月定例会の概要として、日程、主な質疑・一般質問、各委員会の主な審査内容及び審議結果を報告した後、参加者との質疑応答、意見交換を行いました。

- 
- 1 開会挨拶
  - 2 議会改革の取り組み紹介
  - 3 9 月定例会の報告
    - (1) 日程
    - (2) 主な質疑・一般質問（6 項目）
    - (3) 各委員会の主な審査内容
      - ・総務文教常任委員会
      - ・経済建設常任委員会
      - ・民生福祉常任委員会
      - ・石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
      - ・都心部市街地整備特別委員会
    - (4) 審議結果
  - 4 質疑応答、意見交換
  - 5 閉会挨拶



## 会場別開催概要

---



## 釧路市中央図書館

開催日時	2018年(平成30年)10月23日(火) 10:30～11:57
会場	7階多目的ホール
参加人数	40人
出席議員	渡辺 慶藏 議長 大越 拓也 議員 (議会運営委員会副委員長) 月田 光明 議員 (総務文教常任委員会委員) 宮田 団 議員 (経済建設常任委員会委員) 岡田 遼 議員 (民生福祉常任委員会委員) 森 豊 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長) 大澤 恵介 議員 (都心部市街地整備特別委員会副委員長) 松尾 和仁 議員 (議会広報特別委員会委員長：司会)

意見	<p>まちづくりには人を大事にする形の事業がなければならないと思っているが、人を増やしていくことを釧路市としてどのように考えているのか。長期滞在者が定住できるような、若い人たちがこのまちに魅力を感じて、働ける環境があるというような仕組みづくりを推進していく必要があるのではないか。もっとお金をかけてでも人口や雇用を増やす施策に大胆な形で取り組んでほしい。</p>
月田 議員	<p>釧路市は、人口減少を最小限に食い止めるために「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、こういった施策を講じても人口を維持することは困難である。釧路市は長期滞在者に人気が高いため、釧路のファンを増やしていくことで定住につなげていく施策を推進している。また、観光や食などの釧路の強みや資源を磨き上げ、若者が働く上で魅力ある都市になるような取り組みを進めている。限られた予算ではあるが、ご意見を重く受け止めて、議会の議論に反映させていきたい。</p>
意見	<p>よく十勝と比べて釧路は連帯感が弱いと言われるが、それが町内会の加入率にも如実に反映されている。連合町内会は、市や教育委員会、宅建協会と協定を結んで、みんなで町内会に入って絆を強めていこうとしているが、なかなか実効が上がっていない現実があるので、議員の皆さんにも町内会を盛り上げるために力になってほしい。</p>

意見	<p>私が住んでいる地域は市営住宅が多いが、今回の胆振東部地震の際に、給水に関する情報がみんなに把握されていなかった。情報が伝達されても、高齢者は水を汲みに行くことが難しいので、せめて自分の棟の前まで給水車が入ってくると少し楽ではないかという話があった。</p>
宮田議員	<p>情報が市民の皆さんのところに十分に行き届いていなかったということは本当に問題であると思っており、9月定例会でも多くの議員から質問がされていたところである。高齢の方には市の職員が家まで水を運ぶなど最大限の対応をしていたと聞いているが、市民の皆さんのさまざまな声を関係部署に伝えながら、今後の改善策を議会としても考えていきたい。</p>

意見	<p>私が住んでいる堀川町では共栄小学校が避難所になっているが、上の階に上がる方法は階段しかなく、車いすなど階段を上がれない方は、みんなで協力して運んで上げなければならないということであった。これは地域住民が考えなければならない問題なのかもしれないが、市のほうでも何か対策を考えてほしい。</p>
月田議員	<p>学校にはエレベーターや車いすを運搬するリフトがあるわけではないので、いざというときには、みんなで力を合わせて上階に運ぶという対応になるかと思う。高齢者や障がい者の避難所における課題は他にもたくさんあり、例えば乳幼児やアレルギー疾患のある方の食事に関する問題は極めて深刻であり、今回の胆振東部地震でも対応が十分ではなかったと聞いている。電気や水の問題も含めてさらに災害に強いまち、また避難のあり方について、引き続き議論していきたい。</p>

意見	<p>今年も灯油1リットル当たりの価格が100円を超え、大変厳しい状況にある。市は以前に福祉灯油制度を実施していたが、それがぬくもり助成金に変わり、その後結局なくなってしまったが、人口が減少している今だからこそ市民生活を守っていくのが行政の本質ではないのか。福祉灯油を復活させてほしいと思っているが、議員の皆さんがどのように考えているのか聞きたい。</p>
渡辺議長	<p>福祉灯油に関しては、議会でも質問や議論がされてきている。今日は各議員個々の考え方までは述べることはできないが、ご意見は市にしっかり伝える。</p>

意見	若い議員は、これまでの経過がわからないと思うが、これを契機に福祉のあり方、市民生活を守るとはどういうことなのかを勉強して、頑張ってもらいたい。
----	---

意見	<p>胆振東部地震の際に情報が十分に伝わらなかったとのことだったが、議員と市民がつながっていることで情報の共有もできると思うので、行政とのパイプ役を議員の皆さんに担ってもらうためにも、住民のところを丁寧に回って地域の声を聞いてもらいたい。</p> <p>以前、市内各所に違法設置看板があったが、議員も市議という立場と政党の立場それぞれあるのかもしれないが、法律や条例でだめなものだめであり、そういうことをしっかり理解してもらいたい。</p> <p>今、西港区の土地のほとんどが売却できているとのことだが、議員がもっと情報発信をし、このまちの優位性を高め、港を活用したまちづくり、産業の育成をしっかりとやってもらいたい。また、屠畜場の建設についても誘致を進めてもらいたい。</p>
----	---

質問	議員の行政視察はどんどんするべきであり、そこで見てきたことを市民や市役所職員に対し情報発信すべきではないか。また、海外の先進事例を視察することも必要ではないか。現在の傾向として、行政視察は増えているのか減っているのか。
----	---

渡辺議長	<p>議会費を活用した常任委員会の視察や、政務活動費を活用した各会派の視察、いずれも視察先や視察事項などをしっかり議論した上で実施し、視察した内容の良い面が釧路の市政に反映されるよう、提言や議論をする中で生かしている。</p> <p>海外視察は現在、基本的には凍結しているが、例えばベトナムや中国など海外産炭国への炭鉱技術研修事業の関係や、台湾との親善関係など、しっかりとした目的がある場合は、その都度、会派代表者会議で検討するなどしており、無条件で実施する形にはなっていないことをご理解願いたい。</p> <p>毎年度、視察先や視察事項など状況が違うので、一概に増減の傾向は言えないが、視察自体は議会としての大事な取り組みであるので、今後も市民に対する情報提供も含めてしっかりと取り組んでいきたい。</p>
------	--

意見	<p>今日は、市から受託している女性求職者就労促進事業のスクール生と来た。スクールの参加者は、今後の女性としての働き方を模索しながら、このまちで元気に自分らしく生きていきたい、子育てをしていきたいと願っている方たちであり、その中で、このような市民に開かれた形の議会報告会というのは大変ありがたいと思うとともに、今後も参加したいと思えるように、よりわかりやすい言葉を使ってもらえればよいと思う。また、今日の会場である中央図書館は、興味があってもなかなか来る機会がない方も多いと思うが、この時間帯の開催であれば非常に参加しやすいと思う。</p>
松尾議員	<p>今年の議会報告会は、釧路地区3カ所と音別地区の計4カ所で開催する。また、今年から初めての取り組みとして、特定のテーマを設定した形での意見交換会としても実施しており、11月16日には阿寒農協女性部の皆さんと、阿寒町のまちづくりというテーマで意見交換を行う予定である。来年に改選期を迎えるが、引き続き充実した議会報告会、意見交換会となるよう取り組んでいきたい。</p>

質問	<p>市内の小中学校で取り組んでいるコミュニティ・スクールについて教えてほしい。また、学校支援ボランティアに参加資格はあるのか。</p>
大越議員	<p>コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の方々が学校運営に参画し、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、教職員の任用に意見を述べるができることから、当初は少し抵抗感があったのだが、いざ何校かで導入してみると、学校に設置された「コミュニティ・スクール協議会」で、地域の実情や学校内部の状況など、地域住民と教職員が膝を交えて話す中で、互いに理解が深まり信頼関係が出来ていった。その結果、それまで教職員で行っていたことをPTAや町内会でもできるのではないかというふうに、学校を核に地域を盛り上げていこうというような機運になっていき、今は指定校がどんどん増えている状況である。</p>
月田議員	<p>学校支援ボランティアについては、その学校に通っている子どもの保護者や、地域の町内会の方など、学校とさまざまな関係性を持っている中で積極的に入ってきてもらうことを目指しており、特別な参加資格があるわけではない。</p>

意見	働き方改革と言われているが、市役所の勤務時間の状況、有給休暇の取得率がどうなっているのか、市議会としてチェックしてほしい。また、官公庁による障がい者雇用の水増しについても非常に問題があると考えており、これに関しても市議会のチェックが必要だと思う。
月田議員	市役所職員の勤務時間等の法令順守の問題については、今後、業務の体制やあり方について庁内全体の見直しが必要だと思うし、市議会としても今まで以上にチェックしなくてはならないと考えている。障がい者の法定雇用率については、これまでも市役所はずっとクリアしているが、その内容に誤りがないのかどうか、市議会としても改めてチェックする必要があるのではないかと考えている。有給休暇の取得については、以前から取ることができるのに取っていないという状況があるが、市議会が取得を促す以上、休暇を取っても業務に支障がない体制にしていかなければならないと思う。
意見	無駄な仕事を省いたり、必要のない部署をつくらないようにしてはどうか。
月田議員	市役所もこれまで、行政改革で相当人を減らし、外部化できるものは外部化し、かえってあまりにも外に任せ過ぎたせいで市役所の中に専門家が少なくなり、まともな話ができなくて困っているという指摘もある。単純に人や仕事を減らすことが市民サービスにつながるとは限らないので、そのバランスを取りながらも、国の働き方改革の流れに沿った市役所改革ということについて、市議会としてもしっかり提言し、厳しくチェックしていきたい。

質問	若い議員の立場から、町内会活動に対する考えを聞かせてほしい。
岡田議員	私は生まれ育った地域に今も住んでおり、町内会から根強い応援をもらっているし、私自身も町内会を愛しているので、町内会活動などにも積極的に参加している。若い人は町内会に加入する意味がわからないという方もいるので、町内会は何のためにあるのかということをしっかり伝えながら、町内会活動の促進を図っていきたいと考えている。

## 釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

開催日時	2018年(平成30年)10月24日(水) 18:30～19:30
会場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	10人
出席議員	秋田 慎一 副議長 酒巻 勝美 議員（議会運営委員会委員長） 伊東 尚悟 議員（総務文教常任委員会副委員長） 松永 征明 議員（経済建設常任委員会副委員長） 工藤 正志 議員（民生福祉常任委員会副委員長） 草島 守之 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長） 松永 俊雄 議員（都心部市街地整備特別委員会委員） 河合 初恵 議員（議会広報特別委員会副委員長：司会）

質 問	胆振東部地震の際にコア3館に非常用電源を設置したとのことだが、どの程度効果があったのか。また、どれくらいの市民に周知できたのか、事後に調査や検証を行ったのか。
伊東議員	今回のような長時間にわたる停電を市役所自体も想定していなかったため、対策が行き届かなかった部分はあったと思う。コア3館にはたくさんの市民が来て、市の職員が夜まで対応していたが、そういったことが近隣の方にも伝わっていなかったという声を聞いている。情報はFMくしろで随時流していたということだが、回数が少ないなど課題があるということは市も認識しており、災害時の情報発信については、これからもしっかりと議論していきたい。
酒巻議員	今回は協定先と連携をとって発電機を設置し、携帯電話などを充電できる体制を確保していたのだが、停電の中で、そのことを市民に伝える手段が限られていた。今回のブラックアウトは初めてのケースであり、どこまでの効果があったのか、市民周知ができていたのかということについては、まだ確認できていない。市の担当部署からは、今回のことを教訓に市民周知や電源確保も含めて、効果的な方法について取り組んでいきたいという答弁があり、今後さまざま対応していくことになる。

意見	避難所の鍵は、一番先に到着した人が開けられるようになっているとのことだが、電話で暗証番号を聞いて鍵を取り出すというふうに聞いた。どれくらいの人があることをわかっているのか、わかっている人がいなかったら避難所に入れられない状況になるのか心配をしている。
伊東議員	例えば夜間に避難所の小学校を開設する場合は、近隣に居住している市職員が行って開設する仕組みになっていると聞いている。しかし、災害は予想を超えて起こり得るものであり、今回の災害でできなかったこともたくさんあることから、貴重な意見として議会における議論の中で反映させていきたい。

質問	市立病院新棟建設設計業務の契約解除の件について、市政報告会などで話を聞き、市側の意見は理解できたが、なぜ議会として業者側の言い分を聞かなかったのか。
工藤議員	6月定例会の民生福祉常任委員会において、その点についても検討の俎上に載り、参考人招致等も議論したが、議会としていち早く司法の場において解決を図るべきとの考えから、見送った経過がある。先週から裁判が始まり、その中で解決していくという状況になっているので、議会としてはそれを見守っていくことになる。
秋田副議長	市が契約を解除し、それにより不利益を被った部分について司法の場に持っていくということは当初から示されていたので、それであれば議会で議論するよりは、第三者の司法の場に委ねて結果を見たほうがよいだろうということで、議会として判断した。

意見	市中を歩いていると、散乱しているポイ捨てのごみが非常に気になる。これからたくさんの観光客に来てもらいたいという状況で見苦しいのではないか。これは我々市民がみんなでやらなければならないことだと思うので、これを啓発する方法などについて機会があれば議論してほしい。
河合議員	市民有志や町内会の方々にごみ拾いの協力をいただいているところだが、どのような啓発ができるのか、議会の中でもしっかりと考えていきたい。

意見	胆振東部地震の際に、FMくしろの受信状態が悪く、他局のほうで情報を聞いていた。断水のデマが流れたり、電気の復旧情報もラジオに頼っていたので、回線の安定化を図ってほしい。
伊東議員	情報をいかに正しく多くの人に伝達するかということについて、今回は問題がいろいろあったという声をたくさん聞いている。FMくしろに関しては、9月定例会の質疑・一般質問の中でも、災害情報が流れる回数が少なかったもので、いつつけても災害情報を聞くことができるような形にすべきではないかという意見もあったし、これからFMくしろと市の担当部署で話し合いをするという話もあった。意見を幅広くもらって、周知のあり方を考えるべきであると思っている。

意見	今は太陽光発電が普及しているが、手回し発電機でも携帯電話の充電くらいであれば十分使えるので、各自が持つておくのも一つの方法ではないか。また、冬に吹雪で車が立ち往生した際に、一酸化炭素中毒で亡くなる人がいるように、わかっているにもかかわらず実際の場面になるとパニックになってしまうことがあるので、防災に関しては普段からの準備を心掛けるよう指導していくべきではないか。
伊東議員	今回の件に関しても、日頃の備えがどれだけ大事かということがわかった方も多いと思う。市としても迅速に対応したいけれども、すぐに助けることができるかわからないので、何とか1日か2日の間は自分で生き延びられるように備えてほしいということを基本的な考え方にしている。そういったことを市民に周知していくことが大事だと思っているので、今後も意見をもらいながら議論していきたい。

意見	市が行っている事業の広報が弱い。防災庁舎前で開催している朝市は、庁舎内にポスターもなく、実際に行ってみるまで何をやっているのか全くわからなかった。パブリックコメントについても、担当課の所にポスターもないし、募集用紙も置いていないし、専門的な内容だと書きづらいということもあるので、何とかしてほしい。
酒巻議員	それぞれの担当課に対し、もっと効果的に市民に伝えて、かつ参加するための手続きをわかりやすくするように、私たちのほうからも今日もらった意見を伝える中で議論していきたい。

## 釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）

開催日時	2018年(平成30年)10月25日(木) 18:30～20:00
会場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	20人
出席議員	渡辺 慶藏 議長 鶴間 秀典 議員（議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会） 高橋 一彦 議員（総務文教常任委員会委員） 戸田 悟 議員（経済建設常任委員会委員） 松橋 尚文 議員（民生福祉常任委員会委員長） 畑中 優周 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員） 村上 和繁 議員（都心部市街地整備特別委員会委員長）

意見	<p>美原公営住宅M1からM5までを、10年計画で全て更地にするということが新聞に載ったので、市の住宅課に説明に来てほしいと要望したが、あくまで計画であって、壊す2年前にどうするか聞くので、それまでは説明もしないと言われた。今も空き住宅がたくさんあり、市は町内会への加入を推進しているが、そのような骨抜きの中での町内会を運営していくことは難しい。美原は、障がい者と健常者が仲良く過ごすノーマライゼーションの北海道のモデル地区ということにつくられ、すごく環境が良く安全で生活しやすいところなのに、果たしてそのように建物を壊していったいいものなのか。美原という地域を改めて検討してもらいたい。</p>
戸田議員	<p>コンクリート建築物の耐用年数は基本的に50年なので、時期を見て古い建物を壊してどういうふうにするか、さまざまな住環境も含め全体的に見た中で、市は住宅マスタープランという計画をつくっている。建物を壊す際には住み替えをどうするかといった要望を全部聞いていくし、改築するのかどうかといったことも含めて地域の皆さんと協議しながら進めていく。ただ、計画どおりにできるかは市の財政や人口の状況もあるので、あくまでその時期が来れば行政側として説明させてもらうというのは、間違った言い方ではない。</p>
松橋議員	<p>今は美原だけではなく全市的に、地域のコミュニティや町内会のあり方が非常に難しくなっているが、それぞれの地域の特性に合ったコミュニティの運営を考えていけばよいのではないかと思っている。災害時において、お祭りなどの行事をしている地域としていない地域で</p>

	は、生存率が大きく変わってくるというデータもある。災害時は行政が動き出すまでに相当な時間がかかるので、普段からの隣近所との付き合いを、これまで以上にやっていく必要があるのではないか。
意見	今は夫や妻が亡くなって一人暮らしをしている人が多いが、そういう人がちゃんと住み替えさせてもらえるのかという不安もある。
戸田議員	今は公営住宅の申し込みの半分近くを単身者が占めるようになっている。行政はそういった状況を把握した上で、皆さんが地域貢献をしながら喜んで住んでもらえる環境にしようという基本的な考え方の下で計画をつくっているので、ご理解願いたい。

質問	本会議の傍聴者はどれくらいいるのか。
鶴間議員	平成 29 年の実績では、2 月定例会で 80 名、6 月定例会で 41 名、9 月定例会で 41 名、12 月定例会で 31 名、合計 193 名である。

質問	音別町でも議会報告会を開催するとのことだが、音別町の住民の意見をどう聞くのか。
渡辺議長	合併してから 10 年以上経過し、釧路市としては音別町と阿寒町との一体感をつくるために最大限努力し、取り組んできている。地域のイベントに対するいろいろな形での支援や、コミュニティセンターや消防署など新しい建物の整備、また、小学校の一泊研修で音別町に宿泊して連帯感をつくるとか、地域の特色ある産業として富貴紙を最大限活用し、いろいろな形で商品化し、全道、全国にも発信していくということなどを含めて、まだまだ差はあるかもしれないが、音別地域の皆さんとの一体感づくりに力を入れて取り組んできている。

意見	J R 北海道の問題は、国が全て責任を持つべきものであり、そのことを道民に周知するために、全道一斉に署名運動などの道民運動を展開する、それが市町村や道議会の仕事ではないか。今までのやり方では決着がつかないし、先が全く見えない。幸い市長は、この点についてはある程度筋が通っていると思うので、議会も市長の考え方をバックアップしてほしい。
----	--

渡辺議長	<p>釧網本線と花咲線の維持、存続に、行政と議会を挙げて取り組んでいる。釧網本線は、釧路湿原国立公園、阿寒、摩周、知床も含めて、貴重な観光資源としての価値が今かなり高まり、浸透してきており、沿線自治体を含めて連携して取り組んでいる。また、花咲線は北方領土返還運動との関係もあるし、先日、根室で開催された会議のためにJRで行ったのだが、素晴らしい景観であった。そういう観点からも、維持、存続に向けた取り組みに力を入れていきたい。</p>
意見	<p>とても景色がいいのはよくわかっているが、そのことをもって膨大な資金をかけて鉄道を維持するのは非常に難しい。国に援助を頼むとか補助をお願いするといった姿勢そのものが間違っており、これまでの経過から言っても国がすべきことである。</p>
高橋議員	<p>花咲線と釧網本線は、地盤や枕木を含めて特急列車が走れない。これはJR北海道にやってほしいといっても無理であり、国にやってもらわないと難しい話であるので、私たちが国に対して一所懸命運動していきたい。根室と網走の議員とも意見交換しているが、こうした運営上の問題はそれぞれで違う考え方があり、国の力がないとこれだけの広さを持つ北海道では難しいのではないかと感じている。</p>
戸田議員	<p>先祖が開拓してくれた北海道を次の世代に継承し、生きる環境をつくるためには、鉄路は国がしっかり責任を持って直すべきだし、国の支援の下で鉄路と車両をしっかりとサポートしてもらった上で、そこから先は地域の自治体や住民がどのように生かしていくか考えていくということにつながっていけば最良の形になると思う。</p>

質問	<p>現在、火力発電所が建設中だが、苫小牧ではCO2を分離、回収する新しい施設が稼働しているということである。今後、クリーンなエネルギーの社会に進行していく中で、石炭によるエネルギー確保というのは大変難しい状況だが、この産炭地を維持していくためにそういった関係の動きを教えてほしい。</p>
畑中議員	<p>火力発電所の建設に当たり、国と北海道の環境アセスメントという手続きを経て、環境問題には一切問題ないということで建設が進められている。釧路には、中国、ベトナム、インドネシア、コロンビアの4カ国の方々が来て炭鉱の技術を学んでいるが、この事業を末永く続けていくために、釧路の炭鉱で掘った石炭を火力発電所で使用し、足</p>

	<p>りなければベトナムや中国から安い石炭を買って発電していくという形で事業が進んでいる。市議会に報告されているのは、あくまで環境アセスメントの審査に通ったということで、CO<sub>2</sub>が実際にどのくらい排出されるのかという報告はまだない。</p>
質 問	<p>環境アセスメントの評価は、どのように審査し認可されたのか。</p>
畑 中 議 員	<p>環境というとCO<sub>2</sub>ももちろんあるが、周辺地域の振動や騒音といった部分もアセスメントの中に入っていると思う。釧路市が建設に協力する部分では、採炭所などから火力発電所まで石炭を運ぶ道路について、舗装改良や拡幅工事を来年度から実施する予定になっている。</p>

意 見	<p>美原2丁目の道路が、特に中央通りの歩道や緑地帯の遊歩道のマンホールが飛び出て周りが陥没していたりするなど、平らなところがないくらいでこぼこで、夜間に歩くのも危険な状態である。また、春先になると石垣から大きな石が歩道に転がってくるという状況になっているため、改善してほしい。</p>
戸 田 議 員	<p>要望については議会として受け止めて整理をして行政側に伝える。宅地造成をした所は歩道も車道もだんだん傷んでくるので、通常の道路補修とは別に予算を取っている。全市的に判断する中で段階的に直していく方針なので、ご理解願いたい。</p>

質 問	<p>釧路市の町内会加入率は、北海道内の他都市と比べると低い状況にあると思うが、加入率を上げていくために、どのようなことが必要だと考えているのか。</p>
松 橋 議 員	<p>全国的に、町内会のあり方というのは非常に変わってきている。ある団地の町内会が、町内会という名前だけ残して解散し、お祭りや餅つきといった事業だけをやるような新しいコミュニティをつくり成功しているそうであるが、町内会だけではなく、地域のいろいろなコミュニティが活発に活動していくことが大事なのではないか。私も町内会の会長をしているが、町内会のフェイスブックを見て引っ越してきた方もおり、活動しているほうが楽しくやることが大事なのではないか。非常に難しい課題ではあるが、それぞれの地域でいろいろと考えながら進めていかなければならないことなのではないか。</p>

質 問	中心市街地のにぎわいを取り戻すために、今何が必要と考えているのか。
村上議員	北大通3丁目、4丁目に新しく2棟のビルが建つので、その近辺のにぎわい創出の一つの核にしようということで、市としてさまざまな支援を行っている。もっと大きな話では、都心部は本来どのような機能を有するべきかといったことを市として検討している。その大きな事業が鉄道高架化であり、まちづくりの起爆剤にすること、そして災害時の安全性を確保するという2つの動機から検討している。昨年基本構想をまとめ、今年からは具体的な事業構想の検討に入っているが、その中では若い方々の意見をしっかり取り入れていくことが大事だと思っている。

質 問	先日、旧丸ト北村の解体に関する要望書への署名を求められたが、向かいのビルの有料老人ホーム棟から見ると屋根に草が生えていて、せっかくのいいまちの眺めにマイナスだと思うが、この問題に関してどのように考えているのか。
戸田議員	本来は建物の持ち主が整理するべき問題であるが、建物と土地の権利関係が輻輳しているために放置され、空きビルとなっているのが現状である。建物の周囲にフェンスを設置して安全措置を講じるとともに、国の事業を活用することができないか検討するなど対策を進めているので、ご理解願いたい。

質 問	釧路市の人口を増やすための対策について、議会としてどのように考えているのか聞きたい。
高橋議員	若い人たちが働く場所をいかに考えるかということだと思う。これまでの釧路の基幹産業は、石炭、製紙、水産、農業であったが、これからは観光も基幹産業にしようということで阿寒湖畔も含めた中でやっている。観光産業は裾野が広く、宿泊業や、バスなどの運送業、飲食業、お土産などの物産に関係する部分もあり、そういったことも含めて今釧路市は若い人たちの働く場所の創出に力を入れている。

# 音別町コミュニティセンター

開催日時	2018年(平成30年)10月26日(金) 18:30~19:12
会場	研修室1・2
参加人数	19人
出席議員	秋田 慎一 副議長 三木 均 議員 (議会運営委員会委員) 金安 潤子 議員 (総務文教常任委員会委員長) 山口 光信 議員 (経済建設常任委員会委員長) 梅津 則行 議員 (民生福祉常任委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会) 佐藤 勝秋 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 続木 敏博 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員)

意見	<p>以前の議会報告会から比べると今日は多くの方が参加しているが、議員が事前に音別町に足を運んで案内したり、議員とフェイスブックでつながることでそれぞれの議員の活動が見えてきたりと、議会も随分変わってきたように思う。今後は市民が話を受けるだけの報告会ではなく、双方で懇談するイメージでやったほうがよいのではないか。</p> <p>災害時の情報伝達について、私はFMくしろの審議委員をやっているのだが、今回はN T Tの専用回線がダウンしてしまい、緊急的にまなぼっとのスタジオを使うことになったが、初めて使った回線で品質が悪かったという報告も受けている。市としても、ラジオを情報源として有効に活用する対策を取ってほしい。また、今回は3、4人のスタッフが60時間以上休みなく放送を続けていたのだが、スタジオには暖房が無く、食事も非常食が少しあるくらいという状況だったことも、皆さんに知っておいてほしい。</p>
金安議員	<p>防災行政無線が聞き取りにくかったため、FMくしろの情報が大変ありがたく思ったところだが、ラジオをつけたときにしばらく音楽が流れていたため、あのような逼迫した状況の中でなぜという意見もあった。私たちもFMくしろを有効活用するよう情報発信していきたいので、何か改善の余地があれば聞かせてほしい。</p>
意見	<p>音楽を流している間にスタッフが情報収集していたのだが、音楽を流す周波数帯とパーソナリティが話す帯域が違っていたので、リスナーのほうがボリュームを合わせるのに煩わしくなり聞かなくなったという話もあった。</p>

また、市役所の防災庁舎に放送システムを設けて、パーソナリティが常駐すれば市からの情報収集も早くなるのではないかと提案もした。今後、より大きな災害があった場合に役立つような情報を収集できたことは、ある意味で良かったのではないかと考えている。

**意見** JRが尺別駅の廃止を検討している報道があったが、我々の町内会には連絡もないし、真偽はわからない。利用者も少ないので仕方ないと思うが、88年の歴史のある駅であり、それを簡単に廃止すると言われると理解に苦しむところもある。本当に廃止になるのであれば、廃止後にどうなるのかといったいろいろな事柄について、住民が納得するような説明をするよう、議員からも働きかけてほしい。

**金安議員** 総務文教常任委員会においても、地元住民から存続を望む声があるといった意見が委員から出ていた。理事者からは、住民からアンケートを取ったり、利用者の推移を見た結果、存続が難しく廃止に向けた動きになったとの報告を受けているが、これからも住民の声をしっかり聞いて、廃止に向けてのただ今の要望も生かしていきたい。

**意見** 音別地域に関して、今まで以上に興味を持ってもらえるようお願いしたい。音別には、露まつり、商工まつり、BBQまつりといったさまざまな行事があるので、議員にも積極的に参加してもらい、町民と話し合っ音別の実情を把握し、問題点を気楽な立場の中で掘り起こし、探し求めてほしい。

**秋田副議長** 音別町の地域課題について、一つ一つしっかりと取り組んでいきたい。今年の6月にも音別町の農業関係の方々と意見交換をさせてもらったが、そのように地域の方と折りを見て意見交換をしていきながら、釧路市の全ての地域で釧路市民で良かったと言ってもらえるようなまちづくりにしっかり取り組んでいきたい。

**意見** 音別は食材が豊富な場所であり、それらを有効利用したいと考えている。一つは豪華客船が入港した際に音別のおいしい水を提供してもらいたい。地元の水を売り込むことで地域活性化になるし、音別のおいしい水というブランド化にもなるので、ぜひ実現してほしい。また、鹿の対策として、音別に鹿肉の処理場を造ってほしい。

山口議員	<p>今年も釧路市には 20 隻以上のクルーズ船が来ており、観光客も増えている。音別の水の提供に関して、衛生上いろいろな法律などがあると思うが、しっかりと調査して、もし可能であれば市として活用してもらいたいと考えている。鹿肉の処理場については、こういった形で造ることができるのか市に確認する。</p>
------	--

意見	<p>教員の働き方改革とあったが、最も基本的な改革は子どもの学力を上げることだと思う。大阪では低所得者に無料塾券を配って、かなり学力の上昇が図られている。無料ではなく補助券みたいなものでもいいので、消費税が上がった際には現金や商品券を配るのではなく、ぜひ教育に関する施策を考えてもらいたい。</p>
----	---

金安議員	<p>議員提案により制定された基礎学力保障条例と、市が制定している教育推進基本計画の両方でいろいろな策を講じており、教育委員会からは学力検査の結果、改善が見られるという報告を常に受けるのだが、私たちの目から見ると大きな変化はなく、小学校である程度頑張った学力が、中学校になるとまた落ちてしまうという悪循環に陥っている状況である。このまちに住んでいる子どもたちがしっかり稼いで、釧路で生活していけるような基礎学力を身に付けてもらえるように、これからも厳しくチェックし、教育現場の改善も見ていきたい。</p> <p>市では「子ども学習支援事業」を市内3カ所で開催しており、そういったことに対する利用促進であるとか、塾などの無料券や補助券についても、機会を捉えて提案していきたい。</p>
------	---

質問	<p>地域コーディネーターというのは、具体的にどういう人たちで、こういった仕事をしているのか教えてほしい。</p>
----	---

三木議員	<p>現在、市内の小・中学校ではコミュニティ・スクールという制度を実施している。今までは、児童や生徒を育てるのは学校が中心であり、さらに加わるとすればPTAということだったが、地域も子どもたちの教育に積極的に協力していこう、また逆に学校も地域に積極的に出て行って教育をしよう、という学校と地域との協力関係がコミュニティ・スクールであり、この地域と学校の仲介を行うのが地域コーディネーターである。</p>
------	---

質 問	<p>鉄路の存続について、ぜひ釧路市も J R 等と協議を続けてほしい。また、鉄道高架化については、どこまで現実的なものなのか聞きたい。</p>
続 木 議 員	<p>釧路駅周辺整備に関し、J R 花咲線、釧網本線の存続の問題が解決していないのに議論していて大丈夫なのかという質問に対し、市からは、鉄路の存続とは別に積極的に進めるとの答弁があった。財源や土地など、いろいろと整理をしていかなければならない問題があるので、まだ何年先ということとは言えないが、鉄道高架化という方向性の下で北海道と話を進めている。</p>
意 見	<p>釧路駅前に高齢者の受診が多い診療科を集めた総合診療所を建てて、直結するバスセンターをつくってほしい。そこから少し買い物をして帰ることができる、災害時の医療センターにするなど、総合的な構想で進めてほしい。</p>
秋田副議長	<p>さまざまなまちづくりの視点による提案として受け止め、都心部市街地整備特別委員会などの中で議論していきたい。</p>
意 見	<p>釧路市街地の除雪状況が悪い。自然災害が多くなっている中で、安全に運転するためにも改善してほしい。</p>
山 口 議 員	<p>現在、除雪事業者がオペレーターの高齢化などにより縮小しているため、異業種の事業者にもお願いしており、除雪に慣れていないという現状がある。釧路は降雪量は道内他地域よりも少ないが、一度凍ってしまうとなかなか解けづらいという状況もあるが、市に対し、しっかりと意見を伝えたい。</p>
意 見	<p>庭に自分で井戸を掘り、菜園や庭の水まきに使用している。災害時に備えて、井戸に対する補助を行ってはどうか。</p>
金 安 議 員	<p>委員会の中では、トイレの水が出ないときに消火栓から水を使えないかと提案した議員もいた。今回の災害で学習したことはたくさんあるので、今の提案も含めて今後に生かしていきたい。</p>



## アンケート集計結果



## 会場別参加者数

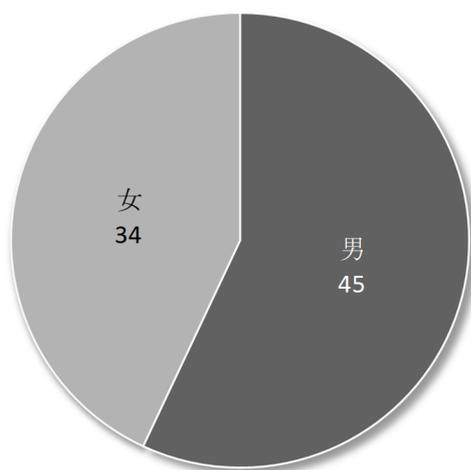
日	会場名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
10月23日(火)	釧路市中央図書館	40	-	-
10月24日(水)	釧路市鳥取コミュニティセンター(コア鳥取)	10	12	23
10月25日(木)	釧路市中部地区コミュニティセンター(コアかがやき)	20	6	11
10月26日(金)	音別町コミュニティセンター	19	10	8
	釧路市役所本会議場	-	4	9
	釧路市男女平等参画センター(ふらっと)	-	4	19
	釧路市東部地区コミュニティセンター(コア大空)	-	5	-
	釧路市労働者福祉センター(サンライフ釧路)	-	-	6
	阿寒町公民館	-	13	18
合 計		89	54	94

今年度の参加者数は合計 89 人、昨年度比 35 人の増であった。

会場別では、今年度に初めて開催した中央図書館は 40 人が参加し、これは 1 会場当たりの参加者数としては過去最高である。コア鳥取は 2 人減であったが、コアかがやきは 14 人増、音別町コミュニティセンターも 9 人増えた。

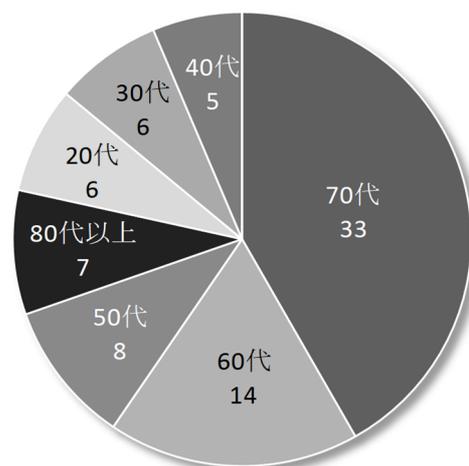
アンケートは、参加者 89 人のうち 79 人から回収した。以下、会場全体を通してのアンケート結果について報告する。

性別



男性の割合が約 57%と多いが、8 割以上を男性が占めていた昨年度と比べると、女性の参加者が大幅に増えた。

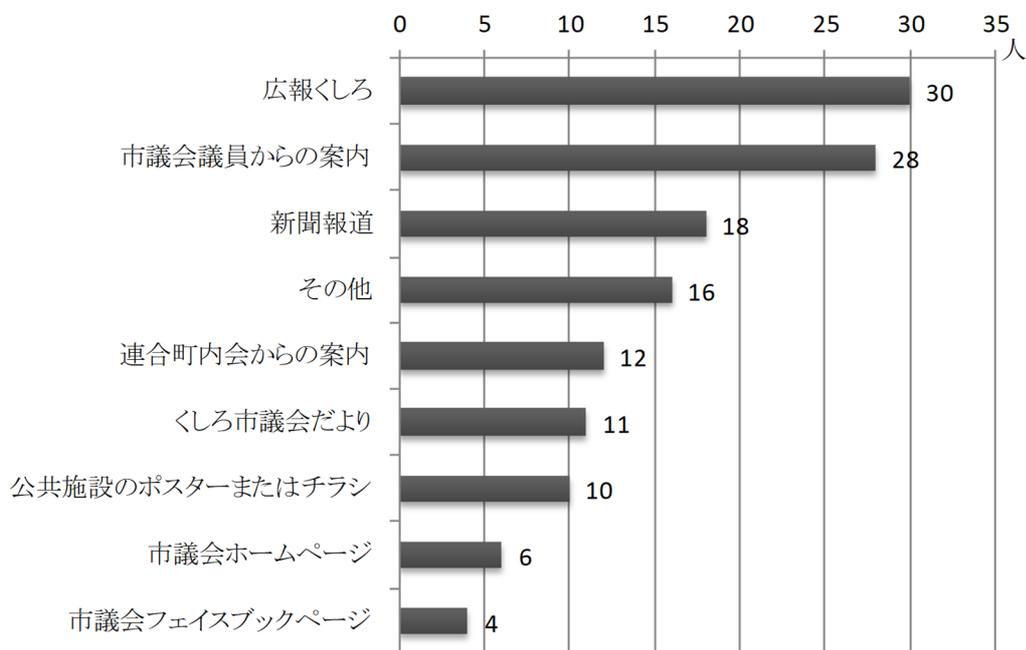
年齢



年齢は 70 代が最も多く、次いで 60 代、50 代の順に多かった。昨年度はいなかった 20 代が 6 人参加した。

※以下の設問は複数回答方式。

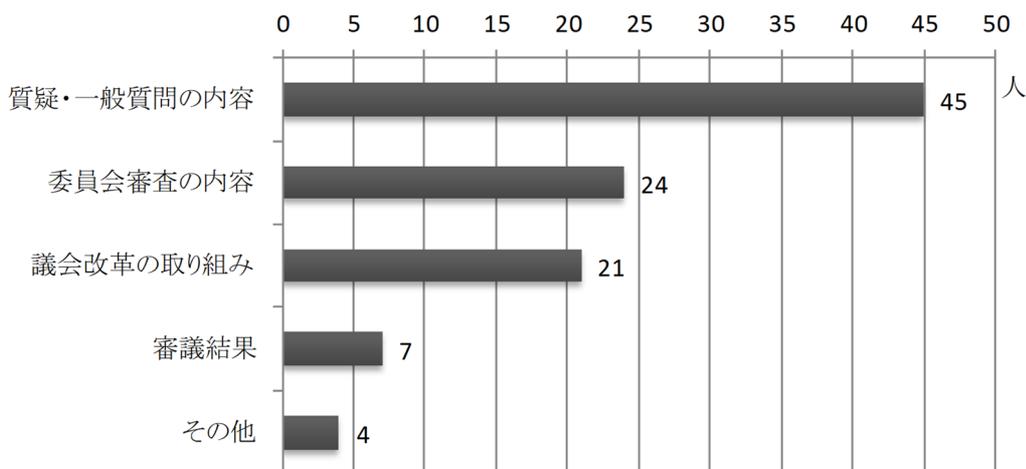
議会報告会の開催を知ったきっかけは何でしたか。



報告会の開催を知った方法は、「広報くしろ」が最も多く、次いで「市議会議員からの案内」、「新聞報道」の順に多かった。

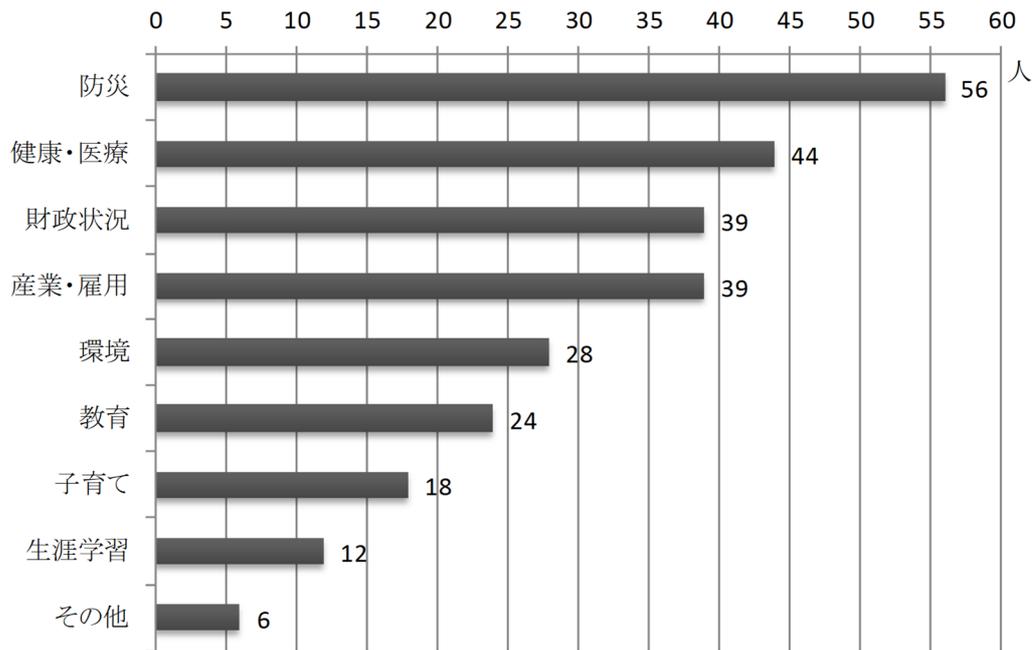
「その他」の内容としては、「所属団体からの案内」や「市議会議員のフェイスブックページ」などであった。

今回の議会報告会の中で、関心を持った報告事項は何でしたか。



報告内容で関心を持った事項は、「質疑・一般質問の内容」が最も多く、次いで「委員会審査の内容」、「議会改革の取り組み」の順に多かった。「その他」は、「質疑応答、意見交換の内容」であった。

ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか。



市政に関して関心のある事項は、「防災」が最も多く、次いで「健康・医療」、「財政状況」と「産業・雇用」、「環境」の順に多かった。

「その他」の内容としては、「社会保障関係」、「指定管理者の運営状況」、「消費生活」、「男女平等参画」、「規制改革」などであった。



## (参考資料) スライド





## 議会基本条例を制定（平成23年）

### 「市民にわかりやすい開かれた議会」

- ・ 市民への情報発信と説明責任を果たす
- ・ 市民と情報や意見交換する場を多様に設ける



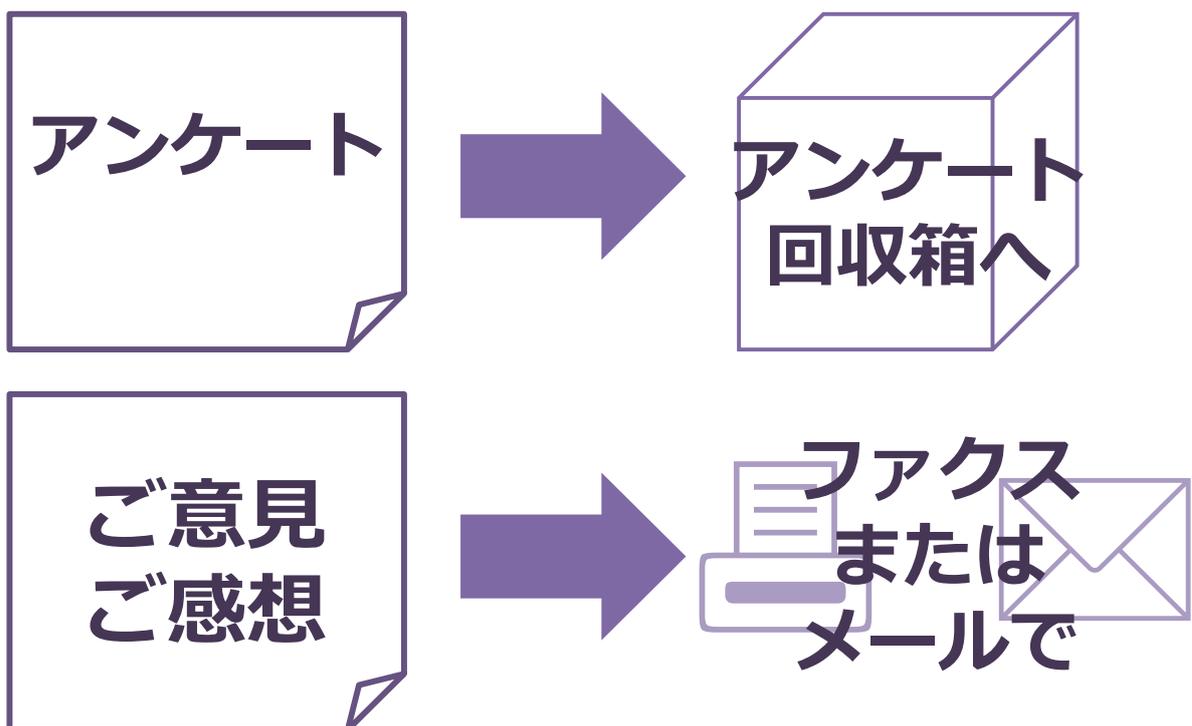
そのひとつが「議会報告会」

## 本日の次第

1. 議会改革の取り組み
2. 9月定例会の報告
  - ① 日程
  - ② 質疑・一般質問
  - ③ 委員会審査
  - ④ 審議結果
3. 質疑応答、意見交換

3

## ご協力のお願い

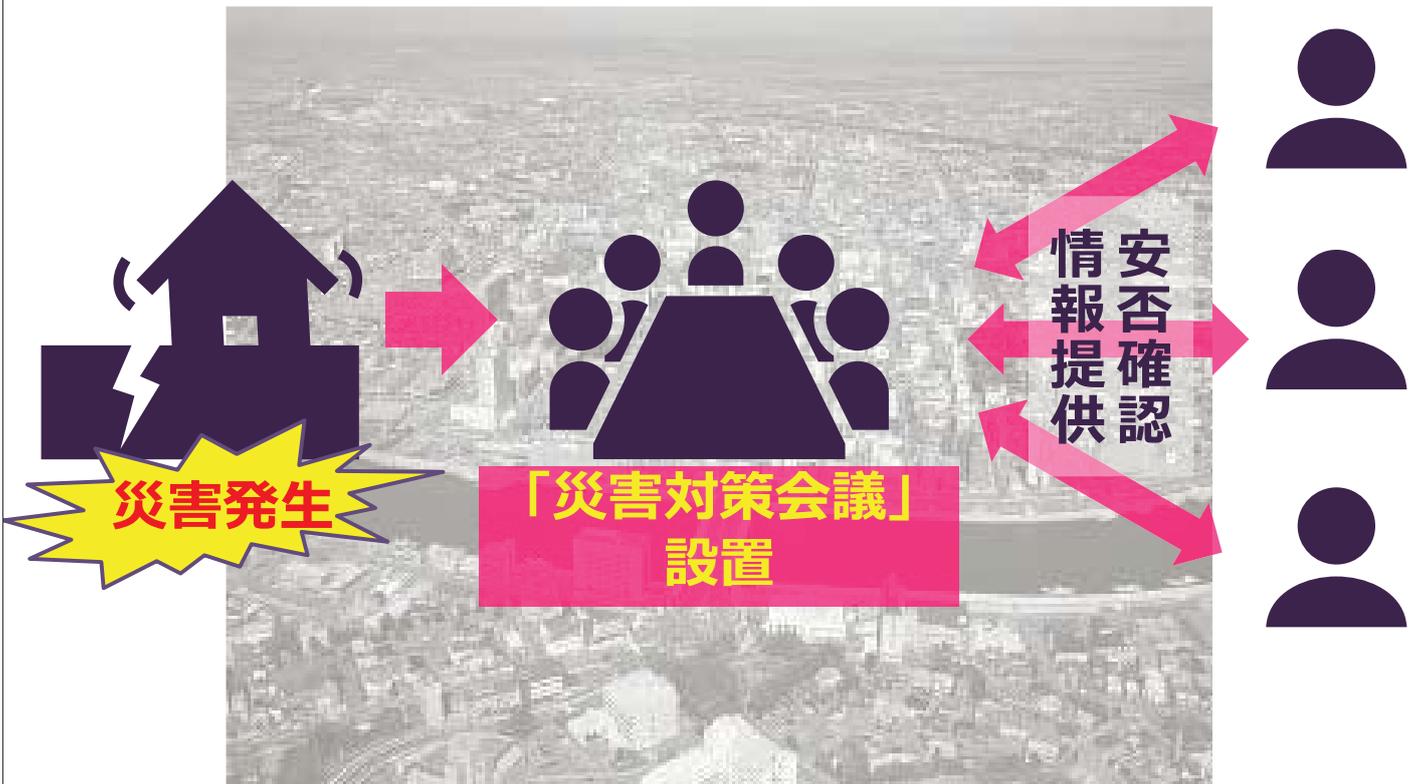


4

# 議会改革の取り組み

平成23年度	<b>議会基本条例制定</b> <b>議会報告会の実施</b> <b>一問一答方式の採用（選択制）</b>
平成24年度	<b>本会議中継の拡充</b>
平成25年度	<b>関係団体との意見交換会の実施</b>
平成26年度	<b>議長交際費の公表</b> <b>市議会フェイスブックページ開設</b>
平成27年度	<b>政務活動費領収書の全件公表</b>
平成27・28年度	<b>中学生模擬議会の開催</b>

# 「釧路市議会災害対応指針」策定



# 今後の新たな取り組み



## 議会ICT化の推進

# 9月定例会の日程

## 主な日程（会期22日間）

9/12 (水)	13 (木)	14 (金)				18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)				25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)			10/1 (月)	2 (火)	3 (水)
市政報告、提案説明	質疑・一般質問（4人）	質疑・一般質問（5人）				各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査				採決	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査			各決算審査特別委員会審査	各会計決算審査特別委員会審査	採決

# 質疑・一般質問

9

## 質疑・ 一般質問 1

### 地域力強化による教員の働き方改革

さまざまな教育課題への対応のため、教員の勤務時間の長時間化が指摘されている。地域コーディネーターの配置など、地域の人材により学校の負担軽減に寄与した事例はあるか。



鳥取小学校では、学校と地域をつなぐ調整役を地域コーディネーターが担うことで学校の負担が軽減されており、今後、コミュニティ・スクールの導入とともに配置を進めていきたい。

10

質疑・  
一般質問 2

## 停電時の避難施設における電源確保

胆振東部地震による道内全域に及ぶ大規模停電の経験を踏まえ、各避難施設における自家発電設備の整備促進をはじめ、確実な電源確保策を進めるべきと考えるが、見解を聞きたい。



今回はコア3館に協定に基づいて非常用電源を設置することができたが、協定先と協議し、今後も安定的に電源を確保できるよう連携強化を図っていきたい。

11

質疑・  
一般質問 3

## 『生き抜く力』を学ぶ防災教育の推進を

災害が発生した時に、子ども自身が「生き抜く力」をつけることが重要である。消費しながら備蓄するローリングストック法などの防災教育を推進すべきと考えるが、見解を聞きたい。



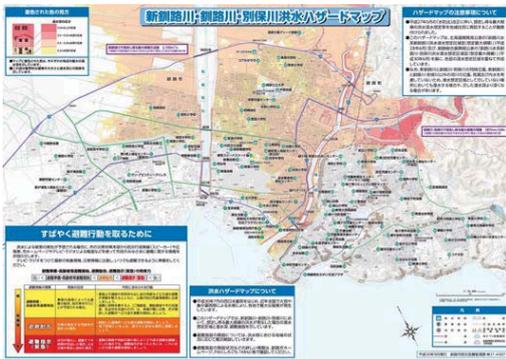
子ども達には、家庭や地域の一員として、災害時の行動について家庭や学校を通じて学んでほしいと考えており、そうした視点における防災教育を推進していきたい。

12

**質疑・  
一般質問 4**

**地域割りしたハザードマップ作成や  
避難施設の表記改善を**

現在発行されているハザードマップは、市中央部の津波緊急避難施設の表記が重なりあってわかりにくい。地域割りのハザードマップの作成や、表記の見直しなど、改善を図るべきではないか。



全体像を把握してもらうために全域を1枚のマップで示しているが、今後、道による新たな浸水想定公表に伴い津波避難施設を見直す際に、一定の集約を図りたい。

**質疑・  
一般質問 5**

**移転、改築が予定されている長生園  
の施設機能**

旧星園高校跡地に移転、改築の予定がある養護老人ホーム・長生園は、新施設としてどのような機能になるのか。



今回整備する施設と定員は、養護老人ホーム120人、特別養護老人ホーム50人、併設するショートステイ10人となっている。

質疑・  
一般質問 6

阿寒川の『水位周知河川』指定後の  
状況は

阿寒川に係る防災対策として、水位を常時監視する「水位周知河川」の指定に向け、市から北海道へ要望を行っているが、指定後の対応をどのように考えているのか。



「避難準備・高齢者等避難開始」の発令基準や「避難対象区域」が明確となるため、市民に速やかな避難行動を促すことが可能となり、地域の安全が確保されるものと考えている。

委員会審査

総務文教  
常任委員会

「災害時における情報伝達」  
周知や方法の見直しを

胆振東部地震に伴う停電の際、市民への停電情報や給水場所、自主避難場所などの周知に関し、防災行政無線では内容が聞き取りにくいという問題があったが、情報伝達の方法についてどう考えるか。



停電や天候の影響を考えた場合、災害時の協定を結んでいるFMくしろによる情報伝達が有効と考えており、同局と災害時の放送の在り方について相談していきたい。

経済建設  
常任委員会

「停電による市営住宅の給水困難」  
今後の教訓に

胆振東部地震に伴う停電により、多くの市営住宅で水道が使えない状況となり、市で給水タンクの設置などを行ったとのことだが、トイレの対応などで不十分な部分があったのではないか。



住民には、自助・共助による初期の対応をお願いするとともに、市としても今回の事態を検証し、全市的に今後の対応を考えていきたい。

民生福祉  
常任委員会

「乳幼児等医療費助成制度」  
助成内容の拡充を

子どもの医療費助成の自己負担分の無料化が小学校就学前まで拡充されることとなったが、今後、通院医療費の助成対象を1学年ずつでも拡充してほしいと考えるがどうか。



医療費の自己負担分を3歳未満児まで全額助成していたところを、来年度から小学校就学前まで拡充することとし、まずは、この拡充の実施に向け、しっかり進めていきたい。

19

石炭対策・  
関連エネルギー調査  
特別委員会

「産炭国への炭鉱技術移転事業」  
産炭国の動向を見据えた事業の推進を

炭鉱技術移転事業の対象国であるベトナムでは、ここ数年で、石炭事情が変化してきている。他の対象国も含め、各国の動向を見据えながら、事業の推進を図っていくべきではないか。



エネルギーの安定確保には、新興国の石炭の採掘や消費の状況など、さまざまな要因が影響してくる。対象国の経済状況等を把握しながら、事業の推進に取り組んでいきたい。

20

**都心部市街地整備  
 特別委員会**

**釧路都心部まちづくり計画と  
 北大通3・4丁目地区の再開発の状況**

JR花咲線、釧網本線の問題が釧路都心部まちづくり計画の議論の進展に影響することはないか、また、北大通3・4丁目地区再開発事業に関する、市の支援体制はどのような状況であるか。



鉄路の問題は非常に大きいですが、都心部まちづくり計画は停滞することなく策定し進めていきたい。北大通3・4丁目地区再開発事業は引き続き情報の提供やさまざまなサポートを行っていきたい。

**9月定例会で審議された議案**

**議案**

**今定例会提出  
 30件**

**全会一致 18件**  
**賛成多数 12件**

**可決  
 認定  
 同意**

**意見書**

**5件**

**全会一致 3件**  
**賛成多数 2件**

**可決**

# 質疑応答 意見交換

# ご参加いただき ありがとうございました



**2018 年度(平成 30 年度)  
議会報告会開催概要**

2019 年 2 月 5 日発行

発行 釧路市議会

編集 議会広報特別委員会

〒085-8505 北海道釧路市黒金町 7 丁目 5 番地

TEL : 0154-31-4581

FAX : 0154-23-7679

E-Mail : gi-gikai@city.kushiro.lg.jp